

イングラム卿と若者ワイアット

- 1 イングラム卿と若者ワイアットは
同じ館やかたで生まれた兄弟でした
二人とも同じ娘に想いを寄せて
二人の名誉は台無しになりました
- 2 若者ワイアットとイングラム卿は
同じ広間で生まれた兄弟でした
二人とも同じ娘に想いを寄せて
悲しいことが起りました
- 3 父親と母親に申し入れ
イングラム卿はメイズリーに求婚しました
姉と兄に申し入れ
イングラム卿はメイズリーを口説きました
- 4 親戚中の許しをとりつけ
イングラム卿はメイズリーに求婚しました
皆はこの申し出に大賛成
でも 肝心のメイズリーの答えはノー
- 5 イングラム卿は父親の広間へ行つて
メイズリーに求婚しました
若者ワイアットはとて小さな寢床の中で
メイズリーに求婚しました
- 6 ある日のこと
メイズリーが髪を結っていると
金ピカの服を着た父親が
部屋の中に入って来ました
- 7 「さあ起きなさい メイズリー
花嫁衣装に着替えなさい
もうすぐ イングラム卿がご到着
おまえたちの結婚式が挙げられる」
- 8 「絹の服を着て
イングラム卿の妻になるよりも
鱈たらを売る暮らしでも
ワイアットさまの妻になりたいわ
- 9 「金ピカの服を着て
イングラム卿の妻になるよりも
パンを求めて乞食をしても

ワイアットさまの妻になりたいわ

10 「かわいい小姓はどこですか

褒美ほうびに金貨を取らせましょう

この手紙を持って

ワイアットさまのもとへ行っておくれ」

11 「小姓はここです

ご褒美ほうびの金貨をいただきます

メイズリーさまのお手紙を

ワイアットさまへ届けます」

12 橋が壊れたところでは

弓を担いで泳ぎました

草が茂ったところでは

急いで走って行きました

13 若者ワイアットの城へ着くと

ノックもせず声もかけず

弓を胸に抱えて

軽やかに城壁を飛び越えて

門番が門を開ける前に

小姓は広間に入っていました

14 若者ワイアットが一行読んだその時に

ひどく嘆き悲しみました

二行読んだその時に

涙が流れて目が見えません

「ぼくの想いを邪魔するなんて

何が兄さんを意地悪にさせたのだ

15 「だが 兄さんの結婚式にことづけを

ベーコンはぼくのもの

二十四頭の鹿の肉と

十トンのワインもぼくのものだと

恋人メイズリーには心配無用と伝えておくれ

すぐにおまえの後を追うから」

16 お城の家来たちは

緑の服を着てめかし込んでおりました

皆が陽気に喜び一杯

でも メイズリー一人がふさいでいます

17 台所の料理人たちは

灰色の服を着てめかし込んでおりました
皆が陽気に喜び一杯
でも メイズリー一人が嘆いています

18 お城からメアリ教会まで

砂利が敷き詰められました
メイズリーと侍女たちが
泥道に足をとられないように

19 メアリ教会からお城まで

黄金きんの布が敷き詰められました
メイズリーと侍女たちが
土で足が汚さないように

20 ミサがうたわれ 鐘が鳴り

皆が寝静まったころ
イングラム卿とメイズリーは
一つベッドに横になりました

21 イングラム卿とメイズリーが

ふかふかで暖かいベッドに横になったころ
イングラム卿はメイズリーのお腹なかに手を置き
「おまえはまさか みごもっているのか」

22 「あなたが結婚の申し込みにみえたとき

一度ならず 二度も申し上げました
あなたの弟ワイアットさまが
ある晩 わたしの寢床でお休みでした

23 「あなたが結婚の申し込みにみえたとき

二度ならず 三度も申し上げました
あなたの弟ワイアットさまが
ある晩 わたしの寢床でお休みでした」

24 「ああ わたしをその子の父親に

兄のわたしを父親にしてくれるなら
弟には結婚するときのお祝いに
五十エーカーの耕地をやるう」

25 「子どもの父親になつてもらいたくはありません
実の親でもないのに 父親なんてごめんです
弟ワイアットさまの結婚のお祝いに
五千エーカーを贈られてもごめんです」

26 そのとき 若者ワイアットが
金髪をなびかせて現れて
イングラム卿の胸を深く突き刺して
ひどい深傷ふかを負わせました

27 すると イングラム卿が
金髪をなびかせて応戦し
若者ワイアットの胸を深く突き刺して
ひどい深傷ふかを負わせました

28 殺されて横たわっている
二人の兄弟を哀れむものはおりません
すべてはメイズリーのせい
その部屋でメイズリーは気がふれました

29 死んで横たわっている
二人の兄弟を哀れむものはおりません
すべてはメイズリーのせい
その部屋でメイズリーは気がふれました

30 「ぼろ布のマントと
固い木の杖を持ってきて
わたしは悪い女だから
死ぬまで乞食で暮らします

31 「ワイアットさまのため一食分を物乞いし
イングラム卿のため三食分を物乞いします
メアリ教会で挙げてくださった結婚式は
素晴らしく誉れ高いものでした」